

社団法人 私立大学情報教育協会
平成 21 年度第 5 回経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事メモ(案)

- I. 日時:平成 21 年 11 月 6 日(土)17 時 50 分から 19 時 20 分まで
- II. 場所:私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者:渡辺委員長, 玉木委員, 水野委員, 中島委員, 後藤委員, 井上委員, 小池委員、井端事務局長, 森下, 恩田,

配布資料

- 資料 1 第 4 回議事録
- 資料 2 第 5 回経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会 議事
- 資料 3 委員名簿
- 資料 4 経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会:経営工学分野の学士力(案)(平成 21 年 10 月 15 日現在)
- 資料 5 全国サイバー委員からの意見
- 資料 6 経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会:経営工学分野の学士力(案)(サイバー委員からの意見反映済み)(平成 21 年 11 月 6 日現在)

検討事項

- 1.本日の記録担当
- 2.学士力の詳細設計について
 - 共通の到達目標をイメージしたコア・カリキュラム, 到達目標, 測定手段の検討について(継続)
- 3.今後の検討スケジュールについて
- 4.その他

議事概要

- 1.本日の記録担当を決定
- 2.学士力の詳細設計について
 - 共通の到達目標をイメージしたコア・カリキュラム, 到達目標, 測定手段の検討について(継続)

2.1 本日の作業の全容

「資料 5:全国サイバー委員からの意見」を参考に、「資料 4 経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会:経営工学分野の学士力(案)(平成 21 年 10 月 15 日現在)」を修正して、「資

料 6 経営工学教育 FD/IT 活用研究委員会:経営工学分野の学士力(案)(サイバー委員からの意見反映済み)(平成 21 年 11 月 6 日現在)」を作成した。

2.2 回答件数について

本委員会に対する意見は 11 件. 他では 150 件の回答があった委員会もあった. 回答を依頼した全会員から 1 割も回答があれば十分, との見解があった.

2.3 到達目標 1 に対する意見についての検討結果

(a)リスト No.6 の会員からの意見について

教育方法で実現している.

(b)リスト No.7 の会員からの意見について

調査分析の基礎に含んでいる. モデル化(目標 2)で対応している.

(c)リスト No.8 の会員からの意見について

到達度③, ④に「科学的な」を挿入する.

2.4 到達目標 2 に対する意見についての検討結果

(a)リスト No.6 の会員からの意見について

記載する項目としては, やや細かいレベルのものなので, 採用は見送る.

(b)リスト No.7 の会員からの意見について

イメージの「プロジェクトマネジメント基礎」の「基礎」を省く.

到達度⑤にプログラミングは必要なことは確かである.

イメージの「情報処理技術」の後ろに「(データ処理, プログラミングやアルゴリズム開発)」を追加する

(c)リスト No.8 の会員からの意見について

指摘通り, 読点を追加する.

(d)リスト No.10 の会員からの意見について

イメージの「オペレーションズ・マネジメント」の後ろに「(IE, QC などを含む)」を挿入する.

IE の中に「資材管理」が含まれるかどうか?, IE の定義が人や分野によって異なる場合がある.

2.5 到達目標 3 に対する意見についての検討結果

(a)リスト No.7 の会員からの意見について

イメージの「情報システム」の後ろに「の設計・開発」を追加する.

(b)リスト No.8 の会員からの意見について

イメージの「活動に必要な・・・改善の基礎知識」を「活動に関して, ...改善に必要な基礎知識」に修正する.

(c)リスト No.8 および 9 の会員からの意見について

測定方法「③については、」の後ろに「論述形式あるいは選択形式で確認するとともに、」を挿入する。

2.6 到達目標4に対する意見についての検討結果

(a)リスト No.6 の会員からの意見について

授業方法に関することなので、今回は考慮しない方が望ましい。

(b)リスト No.7 の会員からの意見について

測定方法「論述形式」の後ろに「あるいは選択形式」を挿入する。

(c)リスト No.10 の会員からの意見について

技術マネジメントを入れると古くなるのでは？との意見もあったが、イメージの「技術者倫理」の後ろに「、技術マネジメントに関連する基礎的知識」を挿入することとした。

(d)出席者からの意見

「イノベーションを行う際には、世界の中で俯瞰する力が必要。そのことが到達度に入っていない。その力は、企業、組織、社会の発展・改善に生かすことができる。倫理・公共性の範囲を考えた場合、日本だけで通用するだけでよいのか疑問であり、そのままでも世界にも通用するのかは、更に疑問である。世界との関連、世界への関与の仕方は重要であり、そのことに対する、認識が足りない」

これに対して、目標「これらを取り巻く」の後ろに「国内外の」を挿入すると共に、到達度①の「活動が」の後ろに「国内外の」を挿入する。

2.7 その他の意見

・経済学・会計学では、領域が決まっており、測定方法として、「外部試験など」を含む場合もある。

3.今後の検討スケジュールについて

次回の委員会開催日 12月26日(土) 15時30分～17時30分

4.その他

(a)宿題

今回の学士力案を土台にして、学生が身につけるべき、経営工学教育に特化した情報活用の案を検討してくる。形式は自由。箇条書きのものでも大丈夫。

備考:欠席者も宿題だけは極力提出して欲しい(事務局談)

=====